

令和6年度 C手一△研究発表

昨年度の研究成果

- ▶ デジタル教科書を活用して、筆記用具や教科書を使用する時の手指の動きを低減し、主体的に学習できるようになった。
- ▶ 遠隔合同授業を通して、他校の児童、生徒との対話により、考えを深められた。

今年度の研究課題

- ▶ 個々の障害の実態に応じて、いかにデジタル教科書を活用するか。
- ▶ オンライン（同期）とオフライン（非同期）を活用して、遠隔合同学習での対話をいかに深めるか。

デジタル教科書の研究実践 1

▶ 小学部 4年 外国語活動

▶ ・ 単元名 世界のあいさつ

▶ ・ 本時の目標

- ▶ 世界地図を見て、世界のあいさつの多様性を知る。

デジタル教科書の研究実践 1



デジタル教科書の研究実践 1 成果

成果

- ・当該児童は上肢の操作に困難さがあるが、デジタル教科書が軽い力で操作できるため、主体的にペンで印をつけることができた。
- ・「付箋」機能を活用して、気づいたことを書き記すことを通して、自分の考えを深く考察できるようになった。

デジタル教科書の研究実践2

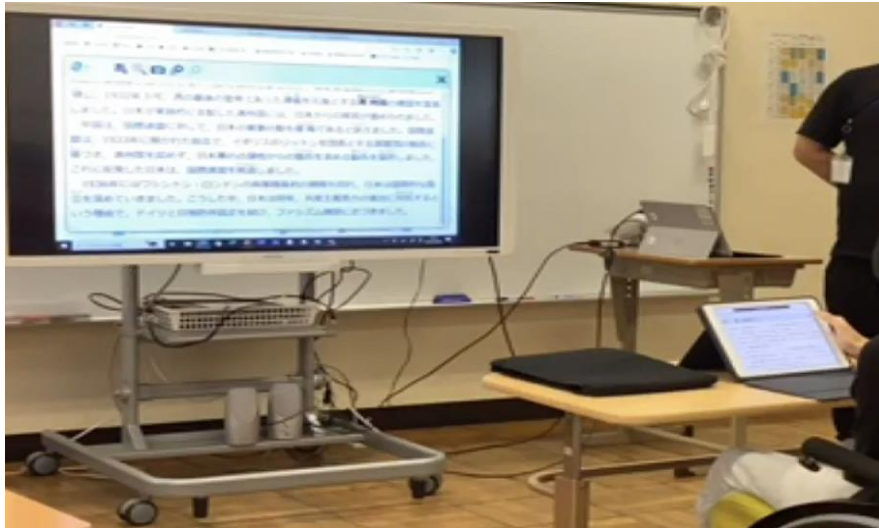
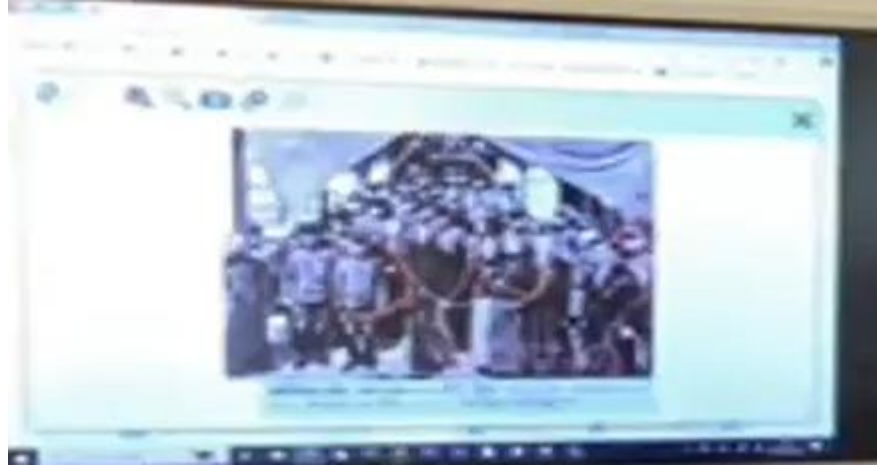
▶ 中学部 3年 社会科

▶ ・ 単元名 世界恐慌と日本の中国侵略

▶ ・ 本時の目標

満州事変と軍部の台頭に関する歴史の流れを理解する。

デジタル教科書の研究実践2



デジタル教科書の研究実践 2 成果と課題

成果

- ・ デジタル教科書の文章を拡大表示して、注目すべき部分を焦点化することができた。

⇒脳性まひの図と地の弁別の困難な生徒への対応

- ・ 「めくり紙」機能を活用して、図や表を見て気付いたことをまとめる活動を深化できた。
- ・ AIを活用し疑似的な生徒とすることで、対話的な学習ができた。

デジタル教科書の研究実践 2 成果と課題

課題

- ・「めくり紙」が教科書の本文や図や表に被ってしまい、見えにくくなってしまった。

⇒ノートの完全な代替は困難なため、別の手段が必要。

- ・AIへのプロンプトの精度を高めきれず、想定したことと異なる回答があった。

⇒生徒への発問とAIへのプロンプトの両者を考慮した、端的でわかりやすい発問の研究が必要。

デジタル教科書の研究実践 3

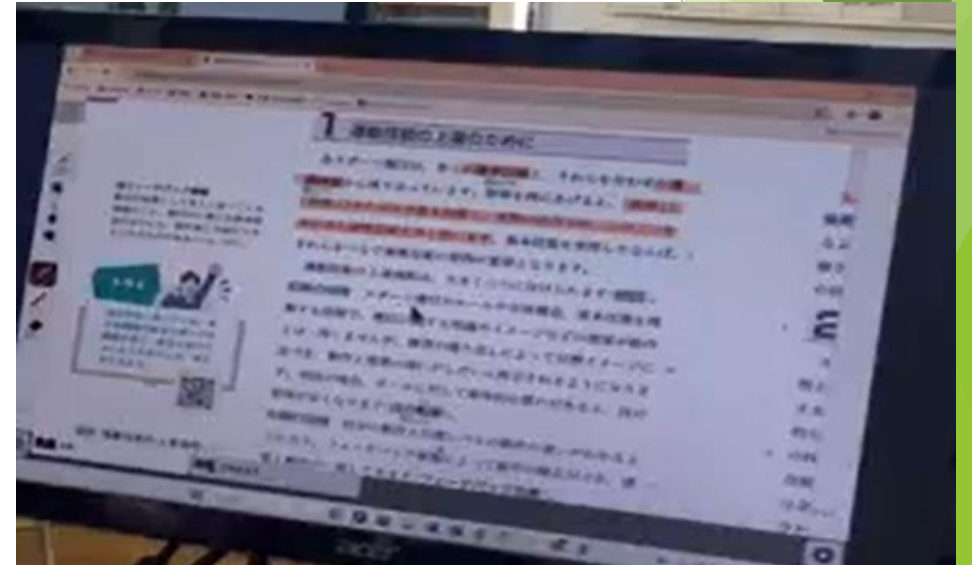
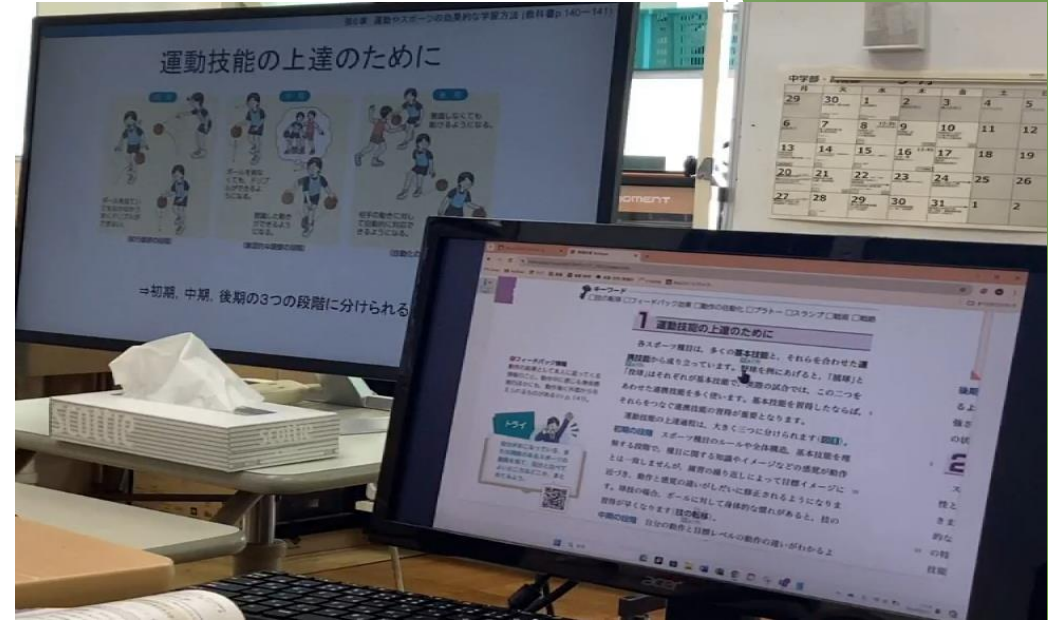
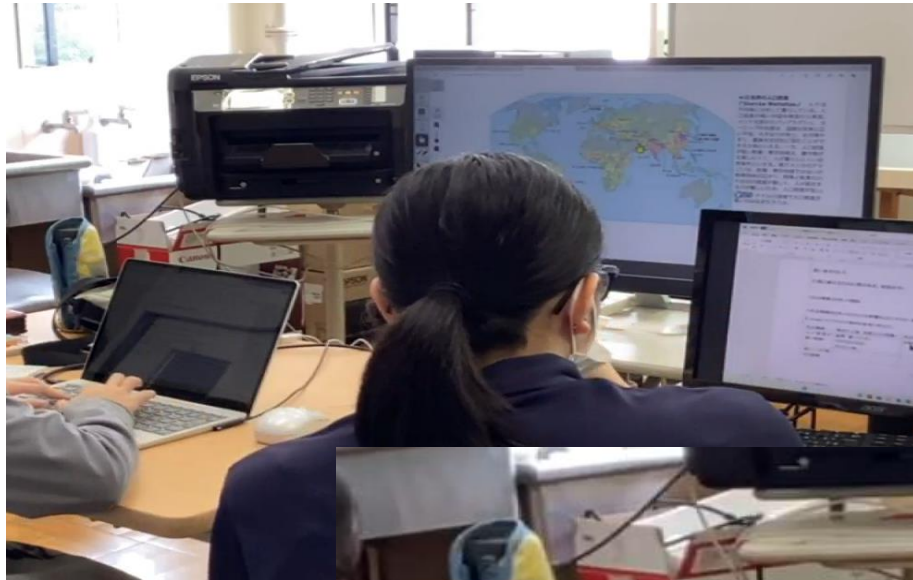
▶ 高等部 2年 地理歴史科 地理総合

▶ ・単元名 生活・文化の多様性と国際理解

▶ ・本時の目標

分布図を拡大し、地域の特徴を理解する。

デジタル教科書の研究実践 3



デジタル教科書の研究実践3 成果

成果

- ・ 地理歴史科では地図や多様なデータを活用するが、拡大表示をスムーズに行えるため学習が深まった。
- ・ 成功体験が少ない生徒にとって、ラインマーカーを付けたたり消したりできるデジタル教科書を使うことで、自信をもって重要なところに印をつけられた。

遠隔合同授業の研究実践 1

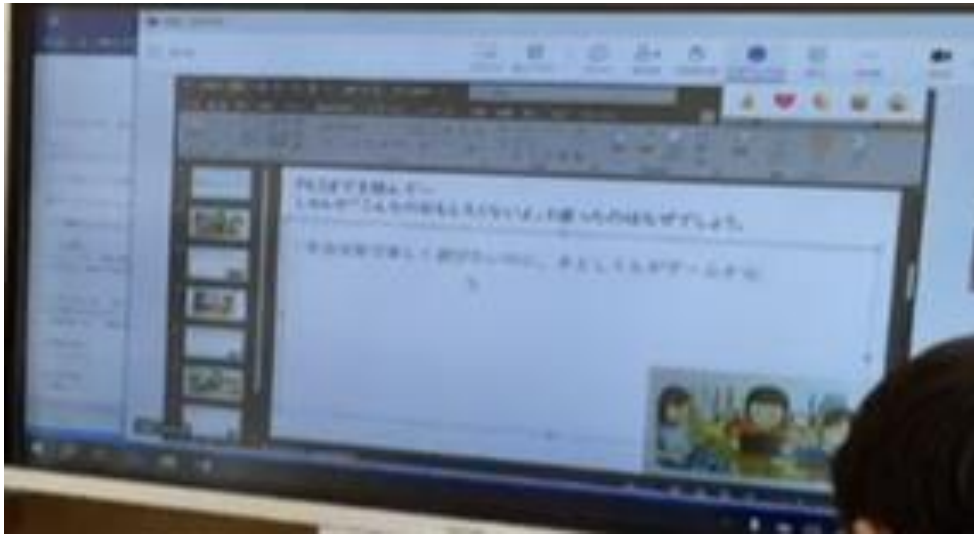
▶ 小学部 4年 特別の教科 道徳

▶ ・授業名 深くいきをすって

▶ ・本時の目標

▶ 相手に伝わりやすいようにはっきりと大きな声で発言する。

遠隔合同授業の研究実践 1



遠隔合同授業の研究実践 1 成果と課題

成果

- ・ 同年代の児童との関わりの中で、言葉やジェスチャー、ICT機器のスタンプ等を活用して、相手に伝わりやすいように工夫しようとする様子が見られるようになってきた。

遠隔合同授業の研究実践 1 成果と課題

課題

- ・ 回数が少なく、児童が主体的に（ICT機器の操作や学習の進行等）操作して行うことが難しかったため、授業以外の交流があっても良いのではないかと感じた。
- ・ 情報機器の操作が不十分ですぐに対応することができない場面があった。

遠隔合同授業の研究実践 2

▶ 中学部 3年 社会科

- ▶ ・ 単元名 経済のしくみと消費生活
- ▶ ・ 本時の目標
- ▶ よりよい消費生活を営むために大切なことを、話し合いを通して多面的に考え説明する。

遠隔合同授業の研究実践 2



第4回

2024年11月13日 16:19

今日の目標

「より良い消費生活を営むために大切なことを考える。」

- 1 前回までの復習
- 2 P129の図③の内容をみてみましょう
- 3 こんなお金の使い方をしていて…
- 4 グループでの話し合い
P129の確認
「より良い消費生活を営むためには、どのようなことが大切か、説明してみましょう。」

○消費生活とは…私たちが日々、財やサービスを買ひ、それらを使って生活していくこと
例えば
・食料品を買って食事をする。
・洋服を買う。
・電車に乗って移動する。
・好きなゲームを買う。
などです。

3 こんなお金の使い方をしていて…

4 グループでの話し合い

P129の確認

「より良い消費生活を営むためには、どのようなことが大切か、説明してみましょう。」

○消費生活とは…私たちが日々、財やサービスを買ひ、それらを使って生活していくこと
例えば
・食料品を買って食事をする。
・洋服を買う。
・電車に乗って移動する。
・好きなゲームを買う。
などです。

しかし、逆に言えば「何を買わないか」という選択もしています。

今回は話し合いの時間がたくさんはとれないので、話し合いのポイントをまとめてみました。参考してみてください。

1 意見の整理

- (1) 一人一人が意見を出しましょう。
時間が短いので、文章にできなかったらキーワードとなる言葉だけでも出してみましょう。
- (2) 他の人の発表をよく聞きましょう。気になる言葉（キーワード）があればメモを取るなどしましょう。

遠隔合同授業の研究実践 1 成果と課題

成果

- ・ オンライン授業において話し合いの時間を充実させられるよう活動内容を設定した。話し合いを通して、自分の考えと他者の考えを比較して、考えの違いに気づくことができた。
- ・ 話し合いをまとめ発表する時間を設定することで、発表内容をまとめる力が身についた。

遠隔合同授業の研究実践 2 成果と課題

課題

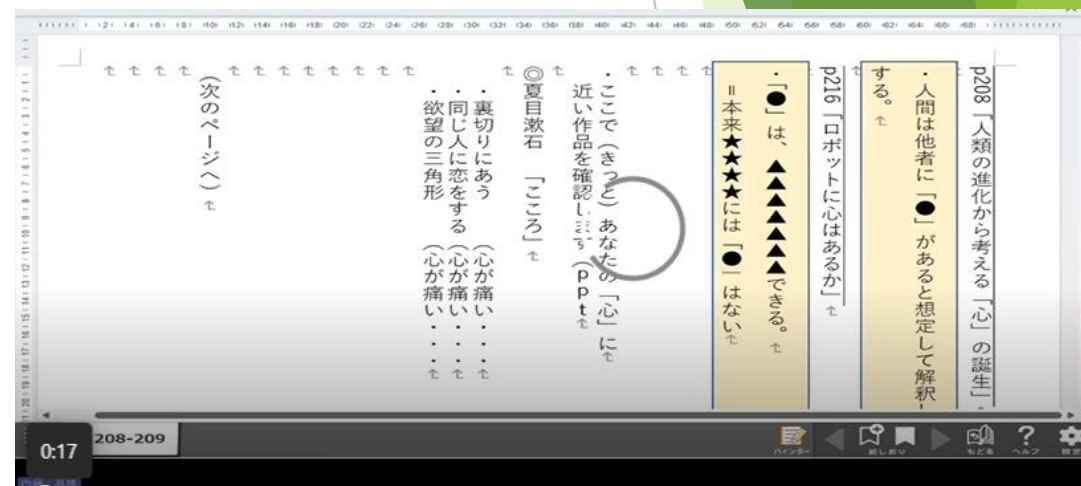
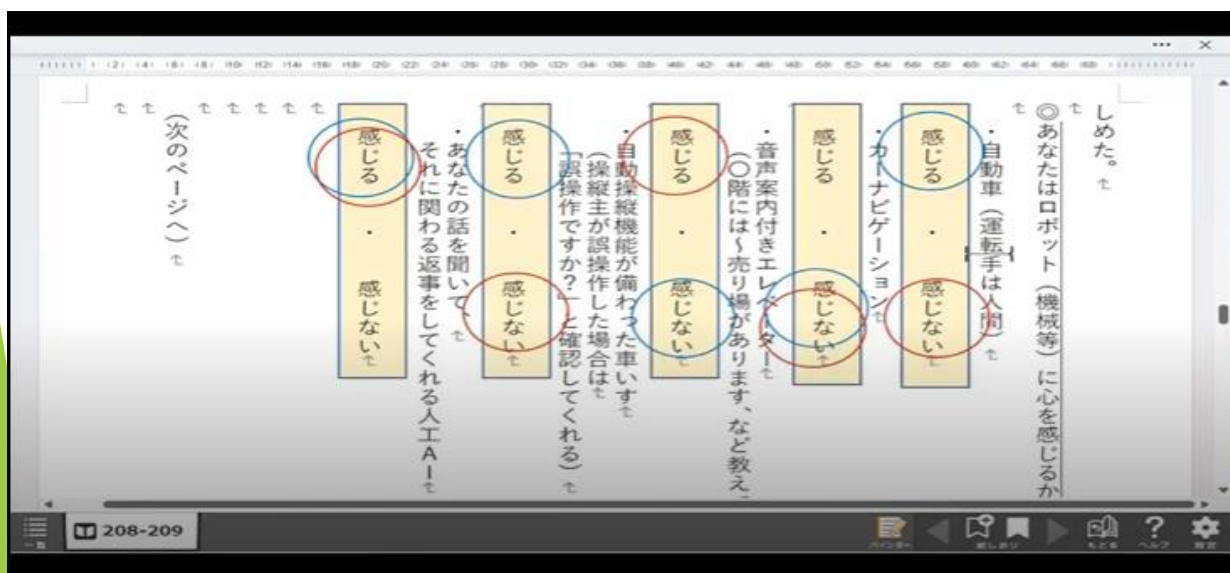
- ・生徒の特性により声の大小が異なっているため、ヘッドセットなどを用いて、詳細に音量調整する必要があった。
- ・オンラインで行う授業内容を精選して、オンラインでしかできない内容を充実するべきだった。
- ・年間指導計画における本単元の位置づけをより明確にすべきだった。

遠隔合同授業の研究実践 3

▶ 高等部 3年 論理国語

- ▶ ・ 単元名 視点を変えて（「心」について考える）
- ▶ ・ 本時の目標
- ▶ 筆者の考えに触れ、自分の中で考えを膨らませる。それを他者に伝えたり議論したりし、考えをより深める。

遠隔合同授業の研究実践 3



遠隔合同授業の研究実践 3 成果と課題

成果

- ・ 遠隔合同授業ではいつもと異なるメンバーとの対話を通して、ふだん思いつかない意見を聞くことができ、発想が広がった。
- ・ 三年間、生徒は同じメンバーで授業を実施したため、特別な絆が生まれたように見えた。

遠隔合同授業の研究実践 3 成果と課題

課題

- ・ 前年度中に共同学習する教科、月、相手校を決めておき、教科書や時間割、年間指導計画をそろえること。
- ・ 相手校の生徒の実態についての情報共有を密に行い、生徒の体力や実態に応じた授業内容を設定できるとよい。